
きみがいないこの世界【ポエム】

沙耶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

きみがいないこの世界【ポエム】

【Nコード】

N7799S

【作者名】

沙耶

【あらすじ】

スケートをしていた男の子を好きになった女の子の詩。ただ、女の子はもう男の子に会うことはできないけれど。

と、あらすじみたいに書きましたが自分の詩です。
恋愛の詩……です。

きみはそういいます。

きみは こういいます

「好きなんて感情は気の迷いだ」と

あたしは必死にくびをふりたいけれど

なにもいえなくなります

なにもいえなくて

ただひとりで辛いおもいをしてるだけです

そしてさいごにこういいます

「失望したよ さようなら」

あたしはまた何もいえなくなります

つぎのことを考えているうちに

きみはどこかにいつてしまいました

あたしはきみのつぎのことを待ち続けます

いつかくるはずの つぎのことを

きみがいないこの世界

きみがいない世界というものは

こんなにも楽しくないんだなと

おもったりします

きみはいま 何をしているのか

あたしにはわからないけれど

あたしは

きみがいないこの世界が

つまらなくてしかたがないのです
きみが
あたしの世界の光みたいなもの
だったのかもしれない

ある時 街で

ある時 街で スケートをしている
男の子がいました
あたしはとつさに
きみのことを思い出しました
きみも

かれらみたいになんか
スケートができるようになれば
きみの人生に輝きがもどってくれるかも
なんてかんがえて
かなしみでむねがいっぱいになりました
かれらの笑顔がまぶしくて
あたしは
よくわからないきもちでいっぱい
いっぱい
になりました

(後書き)

きみ への詩です。

会えない「きみ」への詩です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7799s/>

きみがいないこの世界【ポエム】

2011年10月8日23時59分発行